

# 大桑 第145号 まさたか 12月号



さかえく せかい か  
栄区から横浜を変える！

JR大船駅・JR本郷台駅・JR港南台駅で配っています！

栄区から、しがらみのない市政(政治)を実現します！

市議員3期目  
よろしくお願ひします！

## 市議員としての約束

- 1、選挙の前も選挙の後も駅前に立ち続け新聞(広報)を配り続けます。
- 2、大桑まさたかの政務活動費を公開し続けます。
- 3、私たち市民が市政(政治)に参加する流れをつくります。
- 4、子や孫のために持続可能な横浜(社会)をつくります。

## 約6兆1,312億円 → 約4兆7,888億円

平成25年度末の横浜市借入金残高が4兆7,888億円で確定しましたので、  
ここでお知らせします。平成24年度末の横浜市借入金残高が4兆9,513億円  
でしたので、借入金残高は、1年間で1,625億円減少したことになります。

次に、私が市議員になった時に発表された平成14年度末の借入金残高は、6兆  
1,312億円でしたので、その時と比べると1兆3,424億円減少したことになります。

横浜市人口は2019(平成31)年ごろまでは増加すると予想されていますが、日  
本の人口は、すでに減少に転じています。人口が減少すれば、市税収入なども減少し  
ていきますので、横浜市人口が増加している今から、借入金を縮減していかないと  
将来世代(子や孫)に過度な負担(増税など)を押し付けることになります。

最後に、現在の横浜市は順調に借入金を返済しておりますが、今後も、新市庁舎建設  
や待機児童の解消、年配の方が生涯現役でいられるような施策などを進めるために、  
様々な事業を見直す必要があります。ご理解頂けるようお願いいたします。

# 大桑新聞

プロフィール

第145号(12月号)

大桑正貴(まさたか)

連絡先

横浜市議員 大桑正貴(市政報告書)

〒247-0005 神奈川県横浜市栄区桂町688-4-601

TEL : 045-892-5187

FAX : 045-892-5187

H P : <http://m-okawa.net/>

E-mail : [m-okawa@mvg.biglobe.ne.jp](mailto:m-okawa@mvg.biglobe.ne.jp)

昭和48年(1973年)7月4日生まれ横浜育ち 血液型A型

横浜市立小山台小学校入学

大分県立大分舞鶴高校入学(1年次冬、転勤で横浜へ戻る)

神奈川県立大岡高校卒業

神奈川大学法学部法律学科卒業

平成14年(2002年)12月 アシスト株式会社退職

平成15年(2003年)4月 横浜市議員 初当選

平成19年(2007年)4月 横浜市議員 2期目当選

平成21年(2009年)9月 明治大学 専門職大学院卒業

平成23年(2011年)4月 横浜市議員 3期目当選

JR大船駅・JR本郷台駅・JR港南台駅、いずれかの駅で配布しております。

## 10月分の収支報告(収入は政務活動費55万円/毎月)

平成26年度10月現在の政務活動費累計残高は**−46,866円**です。

今月の支出の内訳

調査研究費	16,805円	資料作成費	0円
研修費	0円	資料購入費	7,375円
広報費	428,909円	人件費	0円
広聴費	0円	事務所費	79,099円
会議費	0円	事務費	13,892円

10月の支出合計は

**546,080円**です。

### 近況報告

大桑新聞11月号(先月号)で、平成26年第4回市会定例会が平成26年11月28日(金)から平成26年12月19日(金)まで開催されるとお知らせしました。しかし、急きよ、衆議院選挙がおこなわれることとなったため、議会日程が変わり、議会終了が平成26年12月26日(金)となりましたので、ここでお知らせします。

次に、私の事務所について、繰り返しになりますが、常時、人がいる体制をとれておりません。お手数をおかけしますが、事務所に連絡をして頂いた際には、留守番電話へのメッセージ、またはFAXをお願い致します。

### 本郷台駅周辺地区のまちづくりについて

大桑新聞9月号でもお知らせをした本郷台駅周辺地区のまちづくりについてですが、その後、平成26年10月に第2回の懇談会がありました。また、栄区選出の市会議員などへの説明もあり、今後のスケジュールが具体的になってきましたので、改めて、お知らせします。

本郷台駅周辺地区のまちづくりについてですが、平成26年12月に「まちづくり構想の素案」が策定される予定となっています。また、それをたたき台として議論を進め、平成27年4月に「まちづくり構想」を策定する予定のようです。その後については、平成28年度くらいから、本郷台駅前の公園などの整備や国家公務員住宅の売却などといった目に見える動きが出てくると思います。

ただし、このスケジュールは、現段階でのものです。今後、何か変更があれば大桑新聞でお知らせしていきます。今後よろしくお願い致します。

### 敬老特別乗車証(敬老パス)について

先日、敬老特別乗車証についてご質問を頂きましたので、ここで改めて、この制度について説明できればと思い、大桑新聞に書かせて頂きます。

はじめに、敬老特別乗車証は、個人の所得などによって一定の負担が必要となりますが、希望をする70歳以上の横浜市民の方に、外出支援などを目的として、利用して頂ける制度となっています。

次に、この制度を維持するために横浜市が負担をしている負担金ですが、「88.5億円」となっております。たとえば、平成25年度を例にあげますと、横浜市の負担金が「88.5億円」。皆さまからの負担金が「約17.5億円」。この両方を合わせた金額「約106億円」を、市営バス(約37億円)や市営地下鉄(約18億円)、金沢シーサイドライン(約4億円)、そして民間バス各社(約48億円)にお支払いして、この制度を維持しています。

最後に、この制度は平成23年5月に見直しましたが、その時、横浜市は「利用者の負担金は、当分の間、見直さない」としました。そして、現在のところ、この制度を見直す予定はありません。今後、この制度について、見直しをするようなことがあれば、大桑新聞でお知らせします。よろしくお願い致します。



大桑新聞ではみなさまとともに、  
栄区について考えていきたいと思っております。

HP : <http://m-okuwa.net/>

E-mail : [m-okuwa@mvg.biglobe.ne.jp](mailto:m-okuwa@mvg.biglobe.ne.jp)